

東洋文庫
459

平凡社

八代集
2

奥村恒哉校注

おくむらつおや
奥村恒哉

1927年、京都府生。京都大学文学部卒業。

専攻 平安時代文学。

現職 鹿児島県立短期大学教授。

主著 『古今集・後撰集の諸問題』(風間書房), 『歌
枕』(平凡社選書), 『校注古今和歌集』(新潮社),
『古今集の研究』(臨川書店)。

八代集2〔全4巻〕

東洋文庫 459

1986年8月8日 初版第1刷発行

校注者 奥村恒哉

発行者 下中邦彦

印刷 株式会社 共立社印刷所
製本 株式会社 石津製本所

電話代表 03-265-0451 〒102 東京都千代田区三番町5
発行所 営業 03-265-0455
振替 東京8-29639 株式会社 平凡社

© 株式会社 平凡社 1986 不良本は、直接読者サービス係で
Printed in Japan お取替え致します(送料小社負担)
定価は外箱に表示してあります

ISBN4-582-80459-4

凡 例

一、本書は、国立国会図書館蔵（榊原芳野旧蔵本）『八代集』（全十六冊、正保四年刊）を底本とし、宮内庁書陵部蔵『八代集』（全八冊、室町中期写）、及び北村季吟『八代集抄』（抄本）をも参照した。底本は印刷が鮮明で、無闇な宛て字も少ない穩健な本作りであると思った。

二、全体を四分冊とし、1Ⅱ古今和歌集・後撰和歌集、2Ⅱ拾遺和歌集・後拾遺和歌集、3Ⅱ金葉和歌集・詞花和歌集・千載和歌集、4Ⅱ新古今和歌集、を収めた。

三、各勅撰集ごとに国歌大観番号を付した。

四、注には、宮内庁本との異同及び各和歌の他書への重載を示した。注は見開き頁の左端（巻末の場合を除く）に、「Ⅰ」内に歌番号を示して別記した。

五、注に採用した他書の略称とその底本を左に表示する。

注の略称の下に数字は、漢数字Ⅱ章・段、漢字のヒラ数字Ⅱ歌番号、洋数字Ⅱ底本の頁数を示す。

書名	略称	撰著者	成立	数字	底本
万葉集	万	未詳	卷一歌番号	国歌大観	

集話説	語物史歴	語物歌	謡 歌	
今昔物語集 宇治拾遺物語 古今著聞集	栄花物語 大鏡 今鏡 増鏡	伊勢物語 大和物語	催馬楽 神楽歌 和漢朗詠集 梁塵秘抄	新後拾遺和歌集 新統古今和歌集
今昔 宇治拾遺 著聞	栄花 大鏡 今鏡 増鏡	伊勢 大和	催 神 朗 塵	新後拾遺 新統古今
橘成季	不詳 不詳		藤原公任 後白河天皇	二条為重 飛鳥井雅世
一一世紀末 一三世紀前半 一二五四	一〇九二以降 一一七〇 一三三三—七六	平安前期 九五—	八九七—九三〇頃 一〇一三? 一二世紀末	一三八四 一四三九
巻一話	巻名 巻名 巻名 巻名	章・段 段	歌番号 歌番号 歌番号	歌番号 歌番号 歌番号
国史大系 新潮日本古典集成 岩波古典文学大系 84	岩波古典文学大系 75 76 岩波古典 21 朝日日本古典全書 岩波古典文学大系 87	岩波古典文学大系 9 岩波古典 9	小学館 日本古典文学全集 25 小学館 日本古典文学全集 25 岩波古典文学大系 73 小学館 日本古典文学全集 25	国歌大観 国歌大観

随筆	日記	歌	学
徒然草	土佐日記 かげろふの日記 紫式部日記	古今集教長注 和歌体十種 新撰髓腦 九品和歌 俊賴髓腦 奥義抄 和歌童蒙抄 袋草紙 古来風体抄 長明無明抄 近代秀歌 詠歌大概 秀歌大体	
徒	土佐 蜻蛉	教 忠 新髓腦 九 俊 奧 童 袋 風 無 近 詠 每 秀	
卜部兼好	紀貫之 藤原道綱母 紫式部	藤原教長 壬生忠岑 藤原公任 藤原公任 源俊賴 藤原清輔 藤原範兼 藤原清輔 藤原俊成 鴨長明 藤原定家 藤原定家 藤原定家 藤原定家?	
未詳	九三五 九七二—六 一〇一〇	一一七七 九四五 一〇〇一—〇二? 一〇〇九以後? 一一一五頃 一一三五一四四	一一五七一五八 一二〇一 一一一—一六 一二〇九 一二二三以後? 一二一九 一二二六—三一?
段	年条 上・中・下	頁 頁 品級 頁 頁 頁 一〇—頁	頁 頁 頁 頁 頁 頁 頁
岩波古典文学大系30	岩波古典文学大系20 岩波古典文学大系19	日本古典全集刊行会 歌学大系一 — — — — — 一(十卷のみ)	歌学大系二 二(再撰本) 歌学大系三 三 三 三 三 三

百人一首	難後拾遺抄	綺語抄	和歌童蒙抄	袖中抄	八雲御抄	古今集注	拾遺抄注	後拾遺抄注	詞花集註	顯注密勘	僻案抄	後撰集正義
百人一首	難	綺	童	袖	八	顯注	注	注	注	密	僻	正義
藤原定家他	源經信	藤原仲実	藤原範兼	顯昭	順徳院	顯昭	顯昭	顯昭	顯昭	顯昭・定家	藤原定家	藤原為家?
一〇八六—八七?	一一〇七—	一一一六—二七?	一一一八—二七?	一一八六—八七?	一二三五—四二	一一九一	一一八四?	一一八三	一一八三	一一二一	一二二六	一三〇四頃?
頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁
歌学大系三	歌学大系別一	別一	別一(一七)	歌学大系別二	歌学大系別三	歌学大系別四	別四	別四	別四	歌学大系別五	別五	別五

目 次

拾遺和歌集

卷第一	春	五
卷第二	夏	一六
卷第三	秋	二四
卷第四	冬	三五
卷第五	賀	四三
卷第六	別	四九
卷第七	物名	五九
卷第八	雜 上	六九
卷第九	雜 下	八一
	旋頭歌	
	なかうた	
卷第十	神楽歌	七九
卷第十一	恋 一	一〇三

卷第十二	恋	二	一二三
卷第十三	恋	三	一二三
卷第十四	恋	四	一二三
卷第十五	恋	五	一二三
卷第十六	雜	春	一五〇
卷第十七	雜	秋	一六三
卷第十八	雜	賀	一七五
卷第十九	雜	恋	一八五
卷第二十	哀傷		一九五

後拾遺和歌集

後拾遺和歌集序	二二一
卷第一 春上	二二五
卷第二 春下	二三六
卷第三 夏	二四二
卷第四 秋上	二五三

卷第五	秋下	二六
卷第六	冬	二七
卷第七	賀	二八
卷第八	別	二九
卷第九	羈旅	三〇
卷第十	哀傷	三一
卷第十一	恋一	三二
卷第十二	恋二	三三
卷第十三	恋三	三四
卷第十四	恋四	三五
卷第十五	雜一	三六
卷第十六	雜二	三七
卷第十七	雜三	三八
卷第十八	雜四	三九
卷第十九	雜五	四〇
卷第二十	雜六	四一
	神祇	
	积教	
	俳諧歌	

解

説……………奥村恒哉……………四三

古今和歌集・後撰和歌集（本書1）

金葉和歌集・詞花和歌集・千載和歌集（本書3）

新古今和歌集（本書4）

八^{はち}

代^{だい}

集^{しゅう}

2

奥^{おく}

村^{むら}

恒^{つね}

哉^や

校
注

拾しゅう

遺い

和わ

歌か

集しゅう

拾遺和歌集卷第一

春

平さたふんか家歌合によみ侍ける

壬生忠岑

一 春たつといふはかりにやみよし野の山もかすみて今朝はみゆらん

紀文幹

承平四年中宮の賀し侍ける時の屏風のうた

二 春霞たてるをみればあら玉のとしは山よりこゆるなりけり

山辺赤人

かすみをよみ侍ける

三 昨日こそ年はくれしか春かすみかすかの山にはや立にけり

源重之

冷泉院東宮におはしましける時歌たてまつれとおほせられければ

四 吉野山みねのしら雪いつきえて今朝は霞のたちかはるらん

(一) 朗八 九上の上 67 俊 141 奥 243 塵三 風 485
(二) 風 485
(三) 風 485
(四) 万十一 八三 朗七 忠 47 奥 246

風 485